

## 学長のコラム

### 崇城大学との包括連携協定締結

去る 6 月 17 日（月）に、崇城大学キャンパスにおいて同大学との包括連携協定を締結いたしました。崇城大学からは、中山峰男学長/理事長、松下副学長、小野副学長、高木事務局長が出席され、本学からは学長以下、崎元理事長、高濱副学長、今村法人局長、河瀬事務局長が出席いたしました。本学と崇城大学とはキャンパスが近いこともあり、これまでも様々な協力関係にありましたが、今回の包括連携協定締結により、両大学の連携がさらに緊密になることと思います。

連携協定締結の目的は、「教育研究および組織運営等の分野で包括的な協力関係を築き、緊密に連携することで、双方の教育研究活動の充実、学生教育の質的向上、教職員の資質向上を目指す」ことで、連携協定の内容は、(1) 研究活動に必要な研究交流に関する事 (2) 学生の資質向上のために必要な教育交流に関する事 (3) 教職員の研鑽等のために必要な相互交流に関する事 (4) その他両大学が必要と認める事項 となっております。崇城大学には生物生命学部や薬学部があり、ライフサイエンス領域で共同研究が進展することが期待されますし、大学院教育にも資するものと思います。また、教育はもとより部活動等での学生交流や施設の相互利用が促進されるものと期待しています。

本学は、本年 3 月に熊本学園大学との間で包括連携協定を結んでおり、今回で 2 校目となります。既に崇城大学と熊本学園大学の間でも包括連携協定が結ばれていることから、今後は三大学が連携してシンポジウム開催や FD、SD 研修などの共同実施に進展することを期待しています。教職員の皆様も、崇城大学や熊本学園大学との共同歩調が有用と考えられる場合には、是非、包括連携協定の枠組みを利用して戴ければ幸いです。



### 7 月・8 月の主な行事予定

7/ 1 (月)	大邱保健大学交換研修生受入 (～7/15)
7/ 9 (火)	賞与支給式
7/15 (月)	(海の日) 出勤日/有給休暇促進日
7/21 (日)	オープンキャンパス
7/26 (金)	(助産) 前期授業終了
7/27 (土)	(助産) 補講日
7/29 (月)	(助産) 前期定期試験 (～8/1)
7/30 (火)	(学部) 前期授業終了
7/31 (水)	(学部) 補講日
8/ 1 (木)	(学部) 前期定期試験 (～8/9 予備日含む)
8/ 3 (土)	(助産) 夏期休業日 (～8/18)
8/10 (土)	(学部) 夏期休業日 (～9/23)
8/11 (日)	大邱保健大学 GSLP 4 名派遣 (～8/20)
8/18 (日)	オープンキャンパス
8/21 (水)	日本臨床検査学教育学会 (～8/23)
8/25 (日)	チャレンジ熊本大！推薦入試対策講座
8/29 (木)	私大協九州支部初任者研修 (～8/30)
8/30 (金)	情報セキュリティ研修会

※8/13～15、19、20 は夏期休暇、8/16 は出勤日です。

### インカレ壮行会

6 月 13 日（木）昼休み、第 69 回九州地区大学体育大会（九州インカレ）壮行会を開催しました。本学から参加する夏季大会競技は、バレーボール（男女）、バスケットボール（男女）、バドミントン（男子）、サッカー（男子）です。

竹屋学長と校友会会長からの激励の言葉に、選手たちも気が引き締まったことでしょう。出場するクラブの活躍を期待しております！（文責：学務課）



### リレー・フォー・ライフ

5 月 18 日（土）白川公園で開催された「リレー・フォー・ライフ」というイベントに、南部 SG（三年生および四年生）、医療系ボランティアサークル Generations の計 30 名で参加しました。

この「リレー・フォー・ライフ」とは、がんサバイバー（患者）、ケアギバー（家族・遺族・支援者）を支援し、地域社会全体でがんとうき合い、がん征圧を目指すチャリティー活動です。もともと、1985 年、アメリカの外科医が「がん患者は 24 時間闘っている」というメッセージを掲げて 24 時間のマラソンをして寄付を募った事が、このイベントの始まりで、現在では全米約 5000 箇所、世界 20 カ国で開催されており、サバイバー、ケアギバーと一緒に 24 時間のウォーキングを行います。

今回、私たちは「リレー・フォー・ライフ」で販売し募金するために、放課後や空いた時間を使って、アロマストーンを作成しました。

初めての試みで大変な事もありましたが、当日は自分達が作成したアロマストーンを完売する事が出来て、達成感を得ることが出来ました。

私達のアロマストーンと南部先生の絵の売上合計金 9300 円を募金しました。

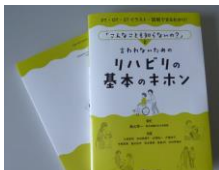
このボランティア活動を通して、人の役に立つ喜びや、これからは自分達が医療従事者として働く上で、どのように患者さんに接していけばいいのかな等を学びました。今後は今回得た経験を生かして、勉学や啓発活動に努めていきたいと思っています。（文責：南部 SG 4 年岩元ひかり、宮下弓佳）



## 「新刊紹介」

この度、リハビリテーション学科、看護学科の教員でリハビリテーションに関する技術書を執筆しました。出版社は金芳堂です。

執筆者は理学療法学専攻では久保高明、中原和美、生活機能療法学専攻は吉田真理子、爲近岳夫、言語聴覚学専攻は大塚裕一、宮本恵美、看護学科は戸渡洋子、高島利、監修は飯山準一先生が担当されています。なお、すべてのイラストを本学言語聴覚学の卒業生、野尻奈央さん、加藤麻美さんが描いています。ぜひ書店等でご覧いただければ幸いです。また本学図書館にも所蔵しています。(文責：熊本保健科学大学認知症予防サポートチーム一同)



## 看護3年次保護者会

5月11日(土)、本学にて看護学科3年生を対象とした保護者会を開催いたしました。

その主たる目的は、学生本人が長期の臨地実習をより有意義なものにするため、保護者の皆さまと大学教職員が協力してサポートしていく会であること。さらに、翌年の国家試験・就職活動を成功裏に導くためのスタートの日にすることです。

まずは、竹屋学長による大学の概要説明、羽田野学科長からの挨拶と教員紹介、各担当教員による臨地実習、国家試験、就職の分野についての説明、個別面談などが行われました。

週末にもかかわらず、ご参加いただきありがとうございました。(文責：就職支援課)



## 花と食の祭典

5月3日(金)～4日(土)株式会社フードパル熊本主催の「花と食の祭典」に今年も参加してまいりました。花と食の祭典の名に相応しく、構内には様々な種類のバラと軽食を販売するお店が軒を連ねており、訪れる人々で賑わっていました。この中で本学は、医学検査学科が体成分測定、骨密度測定、血管年齢測定を、リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻がことばのチェック、飲み込みチェックを行いました。1日目は216名、2日目には206名の方が本学のコーナーを訪れ、測定を受けられました。

(文責：地域連携委員会事務局)



## 学生相談・修学サポートから

学生相談・修学サポートセンターでは、修学上の様々な困難を抱えつつ、勉学に励む学生の皆さまの支援を行っています。昨年(H30年)度は、保健科学部全体で26名の皆さまに、合理的配慮に基づく修学支援を実施いたしました。そのうち、3月にご卒業された皆さまから、支援に関する感想を頂きました。ここにご本人のご承諾のもと、お一人の感想をご紹介します。

○リハ学科 ST 専攻 卒業生 奥田 拓摩

私は4年間のカリキュラムを終えた今、修学支援を申し込んで本当に良かったと感じています。サポートを頂いた沢山の教職員の皆さま方は、普段から気遣って笑顔で声をかけてくださいました。また、常に熱心に私の話に耳を傾けてくださり、通常の授業から国家試験受験時配慮までを通して、私に適した環境のもとで学業等に取り組む事ができました。今、大学生活を振り返る中で、このような場面の一つ一つが、学外実習や国家試験を乗り越える糧になったと痛感しています。サポートに携わって頂いた教職員の皆さまお一人お一人に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。(文責：学生相談・修学サポートセンター)

## 病院との連携協定について

本学はこれまで、①済生会熊本病院(9/27)、②熊本機能病院(2/28)、③くまもと南部広域病院(3/6)、④福田病院(5/14)との間で連携協定を結んでおります。これらの病院とは、もともと実習や就職で強い結び付きを持った友好関係にありますが、連携協定として明文化することによって、その維持と更なる発展を目指します。

なお、今後も連携協定を結ぶ病院を増やす方向で検討を重ねております。(文責：経営戦略課 水野)



## 私の秘話ヒストリー

今回はキャリア教育研修センターの飯山 有紀准教授に投稿していただきました。

2016年4月熊本地震によって、透析をしていた夫はたった一日で災害弱者となりました。1回の透析に約200lの透析液が必要ですが、断水による影響を受けたためです。そこで私たちは、夫婦間生体腎移植を決行しました。山あり谷ありですが、なんとか今日も生きています。

“似たもの夫婦”という言葉がありますが、最近、夫が「自分に似てきたなあ」と思う瞬間が増えました。しかし、似てほしくない部分が似てきたので、腹立たしいやらおかしいやらそんな不思議な気持ちです。今では、「腎臓はただの排泄器官ではなく分泌されるホルモンが性格の一部を形成しているのでは？」と仮説をたて、専門家の視点で観察しています。

みなさんは、免許証裏の臓器提供の意思を書く欄をご存知でしょうか。○を付けていないと、「NOではない」と判断され自分の意思にそぐわぬ結果になることもあるそうです。これを機会にご家族で人生会議を行い、臓器提供の意思を記してはいかがでしょうか。家族の思わぬ思いが聞けるかもしれません。